

保護者アンケート集計結果（坂下中学校）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり保護者の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



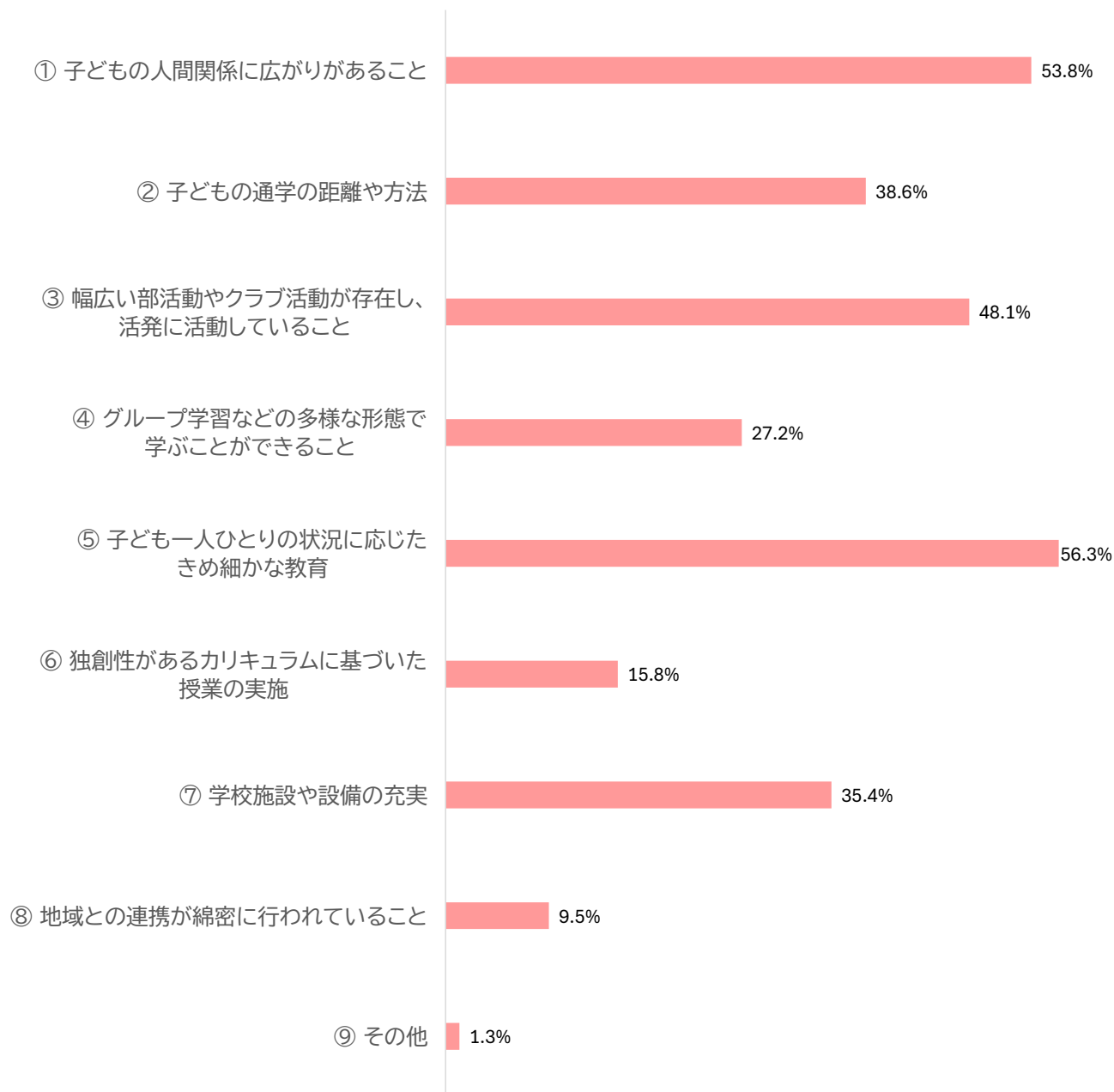
◆アンケート概要

実施期間	令和7年5月19日(月)から6月6日(金)まで
調査対象	坂下中学校に通っている生徒の保護者
実施手法	学校から保護者への連絡システム「Home&School」から回答
生徒数	354人
Home&School 通知数	366人
回答数	158人
回答率	43.2%

子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

「⑤ 子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」が最も多く、次いで「① 子どもの人間関係に広がりがあること」が多くなっています。



1 「⑨ その他」 の回答

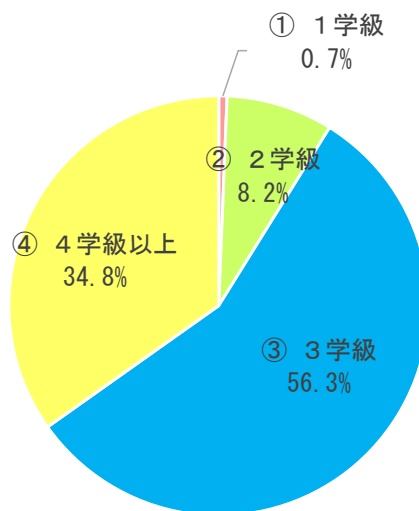
◆就学児

- ・ 学習要項の統一化、平等に学習の機会を得られるよう中間テスト・休み明けテストなど学校ごとの差をなくして欲しい。
- ・ 子どもたちが子どもたちで考え、選び、楽しい行きたいと思う学校づくり。

2 1学年当たりの学級数は何学級が望ましいと思いますか。次の項目から選択してください。
(1つ)

●回答結果の概要

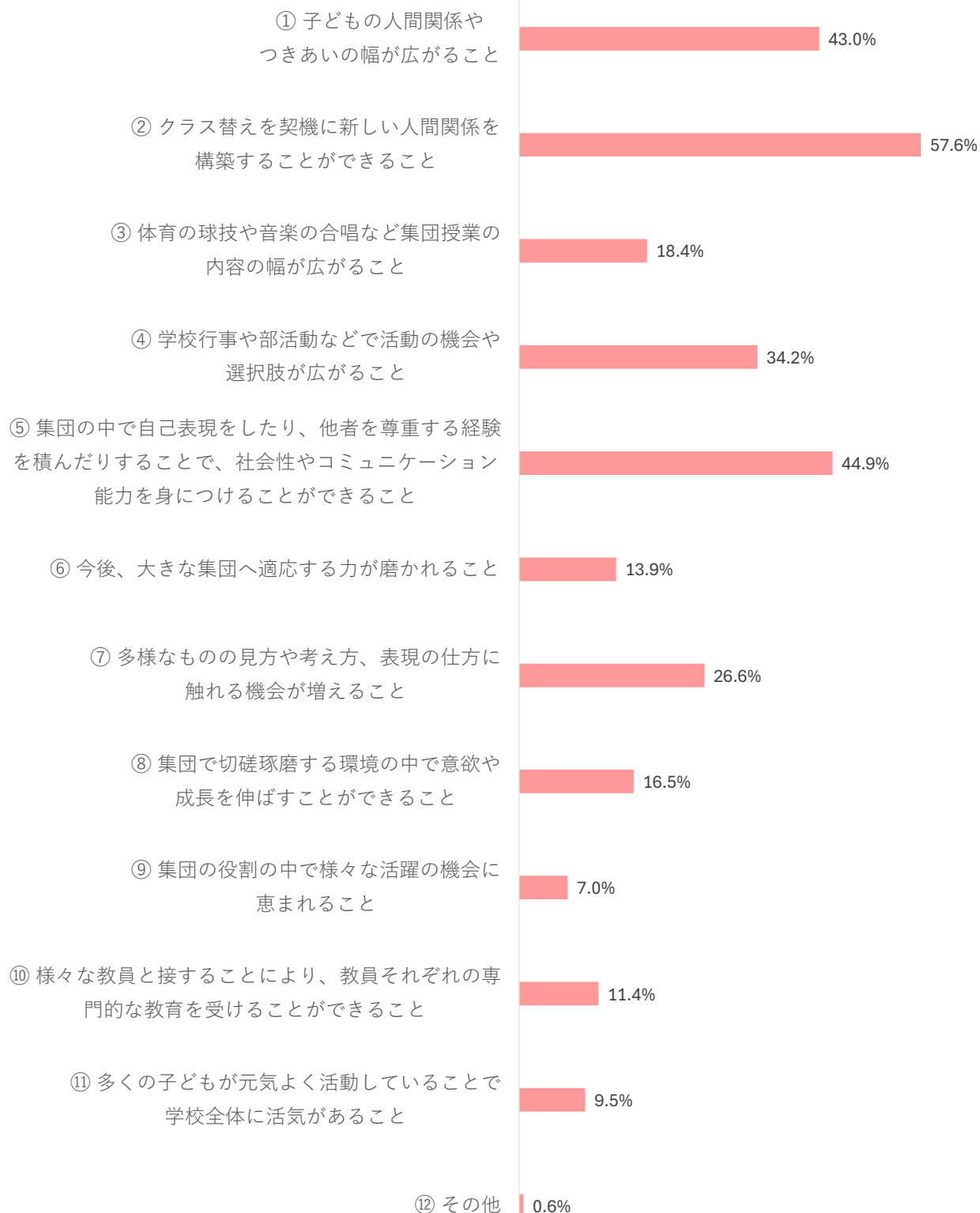
ほとんどの方が複数学級を望ましいと考えており、3学級を望む割合が一番多くなっています。
「① 1学級」を選んだ方は1パーセント以下となっています。



3 各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じることにについて、次の項目から選択してください。
(3つまで)

●回答結果の概要

「② クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができること」が最も多く、次いで「⑤ 集団の中で自己表現をしたり、他者を尊重する経験を積んだりすることで、社会性やコミュニケーション能力を身につけることができること」が多くなっています。



3 「⑫ その他」の回答

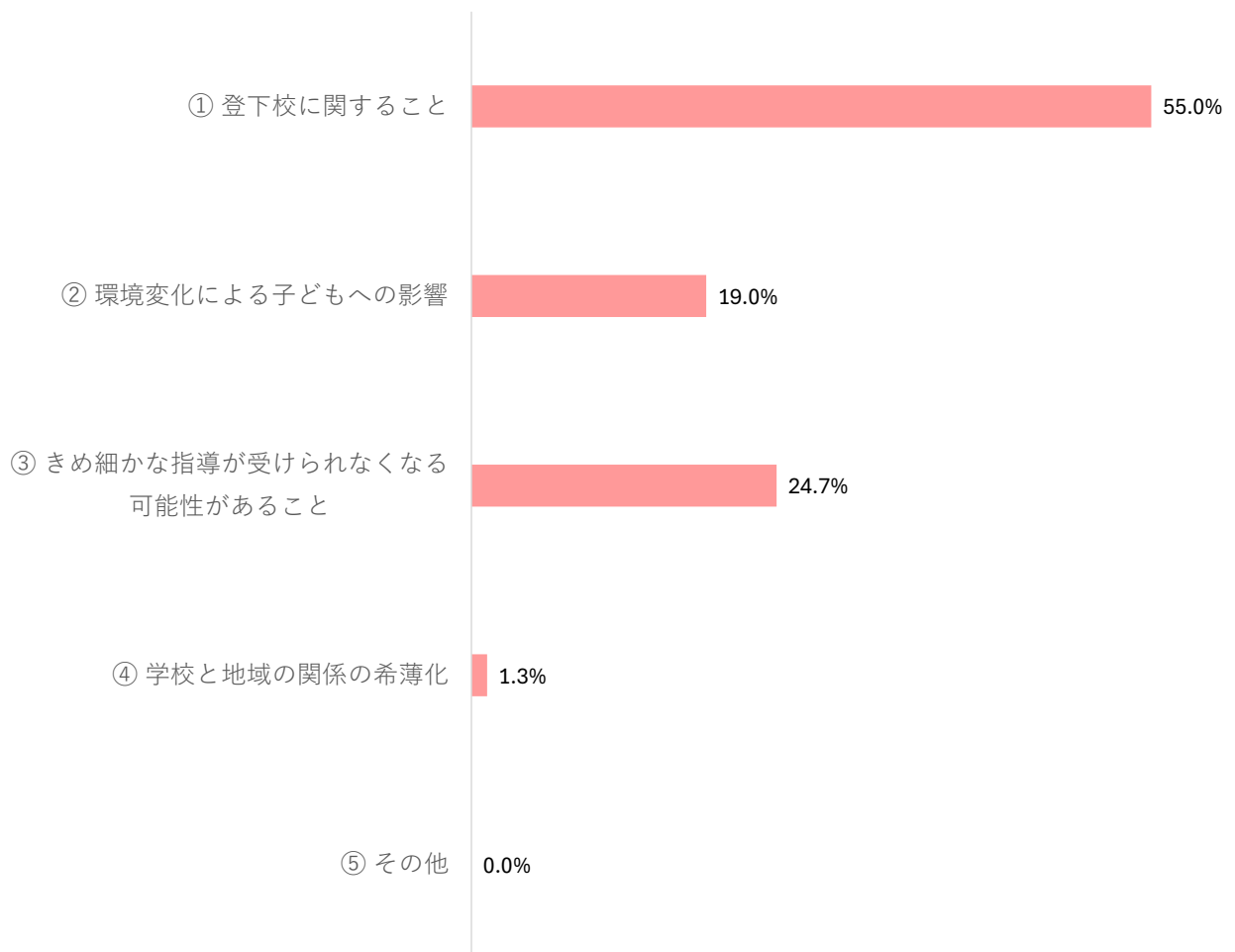
◆就学児

- ・教員1人に対する生徒数を少なくすることで教員の目が届く教育に期待するため。

4 魅力ある学校づくりのために、学校の規模や配置を見直す場合、心配なことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

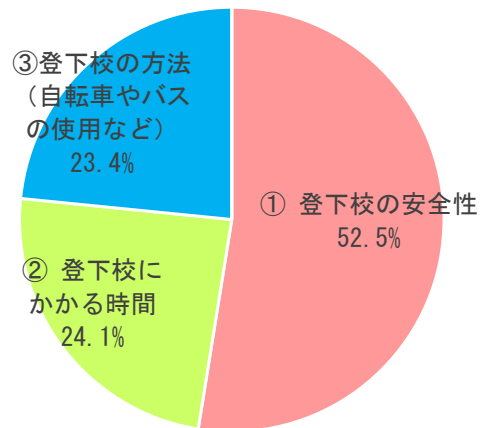
約半数の方が「① 登下校に関すること」が心配と感じています。



学校の規模や配置を見直す場合、登下校に関して最も重要だと思うことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

約半数の方が「① 登下校の安全性」が最も重要と考えています。「④ その他」を選んだ方はいません。

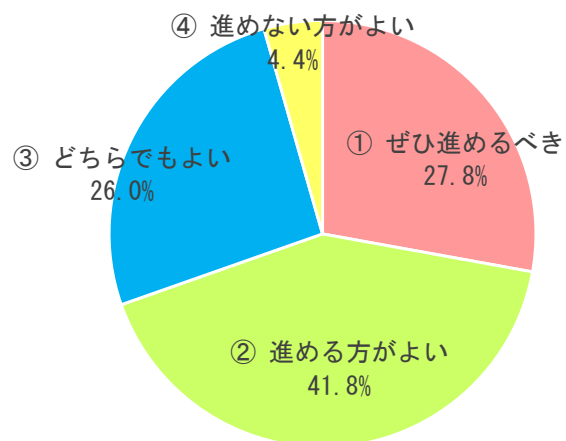


6 市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

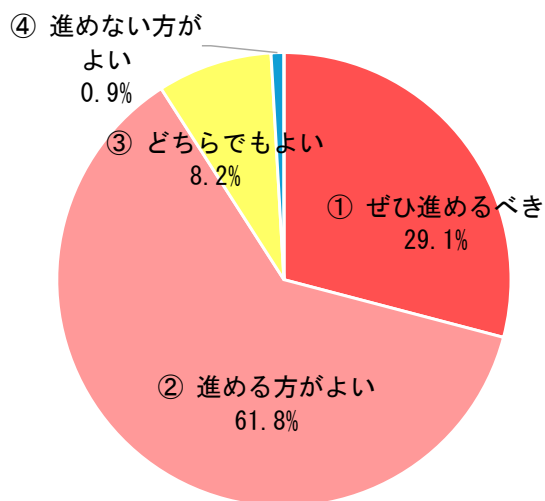
●回答結果の概要

約7割の方が「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と考えています。

「④ 進めないほうがよい」と考える方は5%以下となっており、「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。



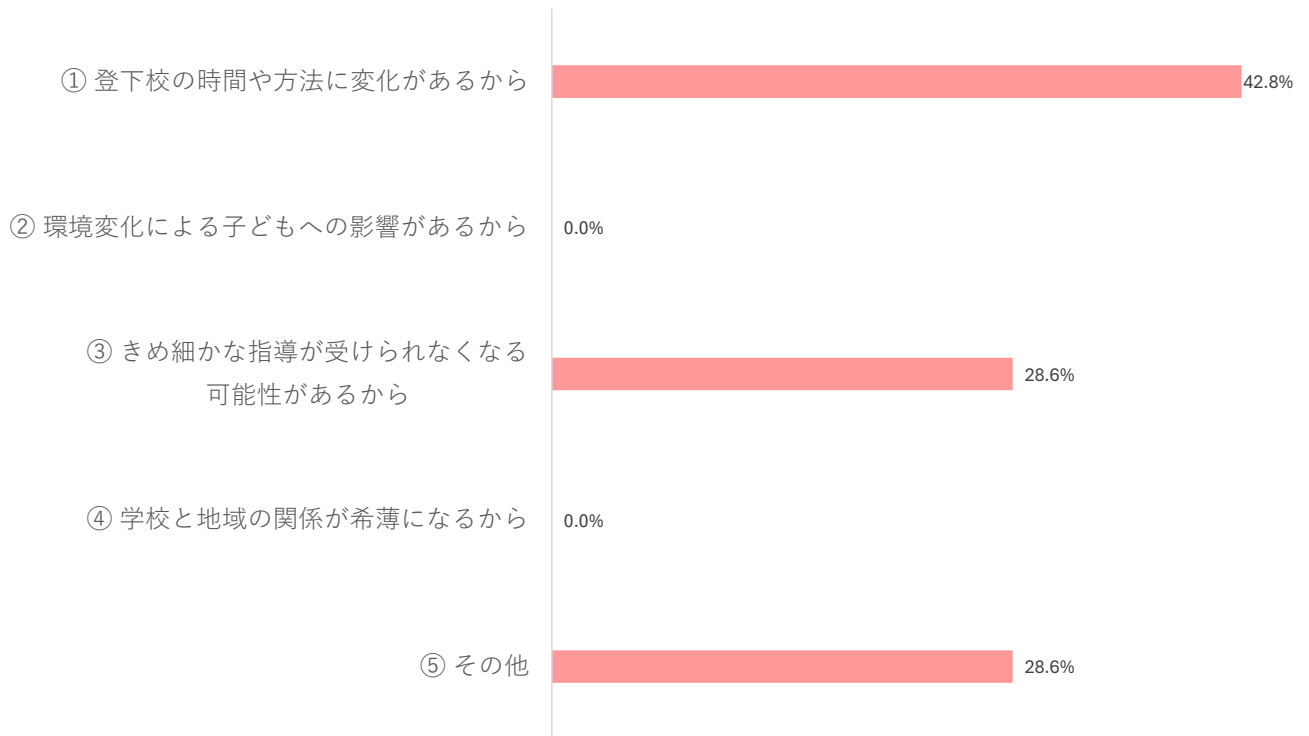
6の質問で、①又は②を選んだ方の約9割が、「坂下中学校においても学校の適正規模や配置について取り組むこと」に賛成しています。「④進めない方がよい」と考えている方は約1%となっており、「⑤進めるべきではない」を選んだ方はいません。



6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。
その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

「① 登下校の時間や方法に変化があるから」が最も多くなっています。



「⑤ その他」の回答

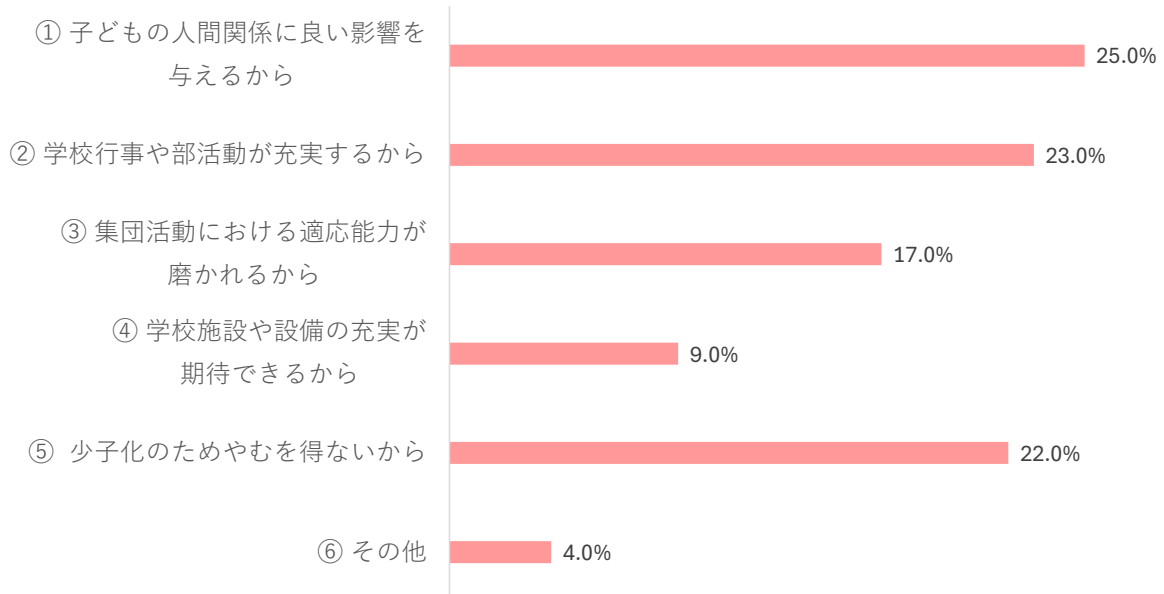
◆就学児

- ・その地域の過疎化が増す。
- ・少人数であっても子どもが学ぶ環境に多い学校と変わりが無いと思うから。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

「① 子どもの人間関係に良い影響を与えるから」が最も多く、次いで「② 学校行事や部活動が充実するから」が多くなっています。



「⑥ その他」の回答

◆就学児

・学級数が少なければ、どちらかと言えば閉鎖的な社会で、噂は広まりやすく、一度ついた印象は、生徒にしろ、教師にしろ、卒業するまでなかなか変わらない。また、その空間が苦痛でも逃げ場がない。母数が多ければ、多少なりともそういったことが緩和されるかなと思うから。

・進めることは良いと思いますが、複式学級なども選択肢に残しながら、進めていくのが良いと思います。また、小学校を統合すると、通学時間の心配があるので、中学校を解体して、小中一貫校を作る方が良いのではないかと思います。不要になった中学校には、公立の学びの多様化の学校の整備をするのが、よいと思います。

・仲間との繋がりを持って学ぶことがいいと思われそうですが、ズームでできることもあるので、無理に進めなくても良いかもしれません。登下校の安全性、学校教育設備、繋がりとできた感をバランスよく考えていただきたいです。人口減少は止まらないので新しく設備を作るなら学校だけじゃもったいないと思います。

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として、最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

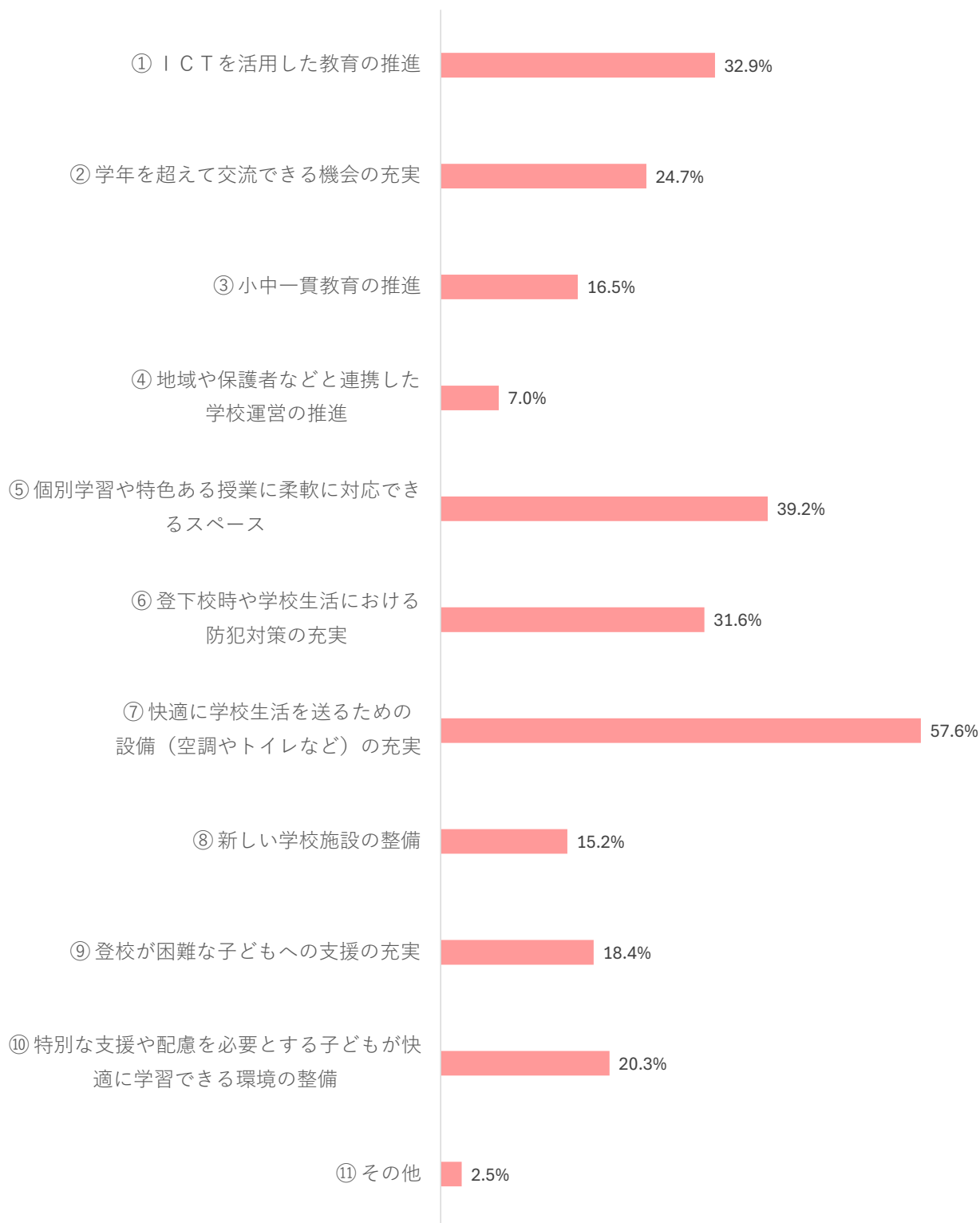
●回答結果の概要

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と考えている方は1名で、「① 登下校の時間や方法に変化があるから」と考えています。

これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

「⑦ 快適に学校生活を送るための設備（空調やトイレなど）の充実」が最も多く、次いで「⑤ 個別学習や特色ある授業に柔軟に対応できるスペース」が多くなっています。



9「⑪ その他」の回答

◆就学児

- ・各個人が自分の個性を大切にしながら輝ける場。子どもの人権が尊重される学校。
- ・子供たちに幅広くいろんなことを経験させてほしい。必ずしもお金をかけなくとも出来ることは沢山ある。
- ・支援が必要な子どももそうでない特別な支援や配慮が必要のない子どものどちらも(全ての子ども)が尊重される教育の場であるといいなと思っています。
- ・同じ公立中学校でも学力の差や学習に対する力の入れ方に差があるの感じます。坂下中学は試験校としてテストの回数を減らしているそうですが学力の低下や志望校への合格率低下が問題だという話をよく耳にしますし、肯定的な意見はまず聞きません。子供たちにとってテスト範囲が広がることで負担が増え、知識の定着を妨げており、保護者側も今後がとても心配だという声をよく耳にします。中学生は3年間後高校受験があり、将来に向けて学ぶ短くも大切な3年間です。同じ公立中学なのに学習の機会、定着の機会が奪われており不公平感を感じます。学力の低下が見られているのになぜ続けるのか疑問で納得できません。なぜ試験を続けているのか、どのような結果がでているのか保護者には何も知らされていません。テストが全てではないかもしれませんが学生のベースとなるのはやはり学力を付けることなのではないのでしょうか。自分の子供が坂下中学校の生徒だったと、自分事として考えてくださらないのでしょうか。本件とは話がずれてしまっているかもしれませんが、学習に対する取り組みの改善、定期テストの復活を強く希望します。

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp